

第 52 回例会 (H26.11.12) 感想 出席者 149 名 再参加 60 名・初参加 73 名・(? 16 名)
アンケート回答 117 枚 (回答率 79%) ありがとうございます。

車椅子選びがとても重要であることがわかった。よく利用者のご家族よりどの車椅子が良いかを聞かれて困ることが度々あった。今回のことはとても参考になった。学んだことを今後活かせるようにしたい。(介護支援専門員)

シーティングの話を初めて聞きましたが、車椅子に座った時の体の角度、特に顔の向きがとても摂食・嚥下に重要ということがわかりました。(保健師)

大変、車椅子の奥の深さを実感しました。利用者さんが何人か浮かんで来ました。よりよい使い方、考えてみたいです。ありがとうございます。(看護師)

標準型車椅子が悪いのはわかっているけど、家庭にいる利用者さんにお金がないという理由で使えないのも現状だと思います。それを使えるように働きかけをしていって欲しいと思います。PT、OT、ST、Ns.、Dr. は介護の実際的な援助を試みるべきだと思います。実際にして、はじめて指導の良い悪いがみえてくると思います。(看護師)

車イスの導入について、まずはレンタルから使いこなす。大事だと思います。(看護師)

自分が知らない事が多すぎて利用者様に不快にさせている事があったなと思いました。今日習った首の位置、足の位置などを気を付けて食事をしないといけないなと思いました。(看護師)

車イスは移動の手段であり、座位はイス、臥位は布団、ポジショニングは本人が微調整できる遊びがあってしかりと思っていました。車イス上で人生の大半を過ごさざるを得ない方と、介護者側の都合で車椅子上の生活を強いてしまうことになる方でシーティング方法、車椅子の select は差が出るのだと感じました。(看護師)

摂食時の姿勢について頭の位置、体との角度などが大切だという事がわかった。食事の姿勢と安楽な姿勢は違うという事、そして車椅子がと

ても大切な役割を果たしていることがわかった。車イスの種類も役割も色々あることがわかってよかった。(看護師)

車椅子も奥が深いと思った。色々、学んだことを病院で実践してみたいと思う。(医師)

素晴らしい講演でした。目からウロコの気持ちです。実践もあり、嚥下の姿勢に大事な具体的なことが実感できました。(医師)

非常にわかりやすかった。(医師)

車椅子の重要性について理解を深めることができ、特に食べる時のポジションの重要性について分かりやすく解説していただき大変勉強になりました。(医師)

シーティングに関する興味が高まった。大切さを感じた。(PT)

車椅子でのポジショニングで、してはいけない方法など分かりやすかった。摂食嚥下の3原則といった、明日から意識して実践できる内容で良かった。(PT)

ティルトを倒しての飲み込みなどまだまだ利用者が行う動作の体験が足りていないことを実感しました。(PT)

具体的な内容で分かりやすかったです。即実践できそうな内容が多く、早速、試してみようと思います。ありがとうございます。(PT)

とても参考になりました。実技でも指導して下さるスタッフがいて、分かりやすかったです。ティルト・リクライニングの必要性を実感しました。(PT)

シーティングの復習もでき、多職種にわかりやすく、説明・家族の理解を得られるように説明できそうな良い機会になりました。(PT)

今までシーティングに対する意識があまりな

く、実際どこを評価していいかわからなかった。今日聞いた内容を明日から実践し、職員等に伝えていきたい。(PT)

シーティングによって摂食嚥下のしやすさが体感できて良かった。また、ご利用者の姿勢の崩れを疾患や障害のせいに行っている部分があり、明日からシーティングを考えてみようと思った。安易なクッションの使用をせず、車椅子の調整から実施したいと思う。(PT)

シーティングの基礎から、明日使えることまでわかりやすく教えて頂きました。今まで姿勢の事に関してNsや介護士に説明してもわかってもらえない所がありました。今日教えてもらったことを伝え、姿勢の大切さを周知できればと思います。(PT)

自分の施設で、全く摂食嚥下に対するアプローチができていない事を痛感しました。今後もっと勉強しなくてはと強く思いました。(PT)

わかりやすかったです。1つのテーマをより深く聞けるともとてもうれしいです。(PT)

仕事ですぐに使える知識で勉強になった。(PT)

車椅子、チルトリクライニングに角度をかける時、声掛けは大切だと感じた。利用者の中には自分の思いを言えない人も多いのでこちらが気づいて気持ちのよいケアをしたいと思う。(OT)

実技もあって、分かりやすかった。普段、あまり車椅子の座り方が悪いことに気付いても、どのようにその人に合わせていいかわからなかったがポイントを知ることができて良かったです。(OT)

すぐに実践で行えるものが多く、とても勉強になりました。車椅子上、ベッド上のポジショニングに役に立つと思います。ご利用者のより良い生活につないでいけるよう努力したいと思います。(OT)

実際に車椅子に乗ってえん下のしやすさと、難しさがわかった。食事の評価をみすごしていたので今後気にかけて行っていきたいです。(OT)

チルトリクライスの便利性が改めてわかった。頭部のポジショニングの大切さがわかった。すぐ実践できそうな講演でした。(OT)

普段のシーティングから、食事時のシーティングまであらためて聞いて良かったです。頭には入っているつもりでしたが、聞くと納得させられることばかりでした。業務の中でも小さいことからでも今日学んだことを実践していきたいと思います。(OT)

良い備品を使用すれば良い姿勢がとれる、生活の質を上げることができるのはおそらくその通りですが、様々事情もあり(利用限度額、ご家族、CMの理解が得にくいなど)、スタンダードの車椅子を使用せざるを得ない場合が多いです。努力がたりないと言われてしまえばそれまでですが、理解を得るまでご利用者をお待たせするわけにはいきません。スタンダードの使いにくい車椅子にセッティングを行う方法(備品の作成など)を詳しく知りたいと思います。(OT)

実技があったのでとてもわかりやすかったです。ビニール袋もけっこうマルチグローブのかわりになるのが発見でした。(OT)

今回のお話ですべての動作、ADLを行う上で姿勢が大事だとあらためて認識できました。(OT)

今すぐに職場で実践できる内容が多くとてもためになった。明日から意識して取り組みたいと思います。(OT)

実技もあって分かりやすかった。食事の時の頸部の位置や姿勢など利用者によって筋トーンもちがうので、なかなかうまくいかないのが現状です。今日の講義も参考にしていきたいです。(OT)

車椅子の重要性について良く分かりました。(ST)

摂食の際のうなずき動作の重要性を再確認できました。(ST)

安易な再度調整は逆に緊張を亢進させる事を

知り、勉強になりました。極度の円背で頸部突出している方の姿勢について悩んでいました。頸部の位置（前後）だけでも嚙下に影響することを改めて確認することができました。今後PTと連携して行きます。(ST)

褥瘡に関する事やクッションの性質など非常に分かりやすい説明で理解しやすかったです。摂食嚙下については、「頸部の位置が大事」「仰向けは危ない」という事に共感いたしました。講義上では「頸部突出位はむせやすい」ということが、「頸部前屈位がむせやすい」というとらえ方をされた方がおられたのではないかと思います。今後もわたしも勉強し利用者様のQOL向上を目指していきます。ありがとうございました。(ST)

明日から実践できる内容でとても勉強になりました。実際に体験することで感じたことも多くありました。(薬剤師)

事例や実技を盛り込んで頂きとてもわかりやすかったです。明日からの現場においてもすぐに実践していきたいと思えます。(ST)

車椅子の選択の大切さがよくわかった。細かい所まで見ていかなければ利用者さんの為にならないと改めて感じた。(ST)

新しく知る知識も多く利用者の方に有益となる情報でした。(ST)

体感して身をもって、シーティングの大切さがわかりました。ほぼ寝ているような角度では食べられるものも食べられませんし、飲めるものも飲めなくなると思えます。今後、活かせる場面が出てくるようがんばります。(薬剤師)

全く知らないことばかりだったので非常に勉強になりました。車椅子は全て標準型しかないものと思っていました。食事への座位の影響も興味深かったです。(薬剤師)

シーティングの奥深さを学ぶことができて大変参考になりました。ありがとうございました。(薬剤師)

土中先生、本日はすばらしい講演をありがとう

ございました。私は4月から高卒で介護のお仕事をさせていただいているため、わからないことがたくさんです。先日も仕事先でどうしたらもっと利用者様がご飯をおいしそうに食べてくれるかなあと感じておりました。明日から、姿勢、首、足に注目して実践してみます！本当にありがとうございました！！(介護員)

参加してとても勉強になりました。ありがとうございました。(介護員)

体験することによって利用者様がどのように感じているかよくわかりました。あまり気にせず、このカッコならいいだろうとしていたことを見直し、利用者様によりそって介護ができたらしらと思えます。(介護員)

褥瘡が出来る原因や摂食嚙下の際に重要な姿勢や頭の位置等「座ること」「食べること」の必要性、重要性を改めて学ぶ事が出来ました。自分が実際に体験する事が出来、ご利用者の気持ちに近づく事で、色々な気付きがありました。学ぶ機会につくって頂き、ありがとうございます。(介護員)

普段、ヘルパーとしてご利用者の方を介助する中で、食事介助や移動中等、どうしても頭が右に傾いてしまう方がおられました。ずっと障害のせいだと思い仕方ないとか傾く方にクッションをはさむ等しかしてなかったです。しかし、今日のシーティング講座で障害のせいだけではなく、座り方、姿勢が傾きにつながっていることを知りました。ご利用者のことをきちんと見て、これから考えていきたいです。ありがとうございました。(介護員)

実践をまじえる事でよりシーティングの大切さを理解できました。絶対にこれ！といった方法はなく個人差がかなりあるとの事で色々試したり評価して日々のケアに取り入れたいと思えます。ありがとうございました。(介護員)

今回は、私の担当利用者さんがひどい床ずれになって入院から帰ってこられてので少しでも知識をと思い参加させて頂きました。今後役に立つお話ばかりで、明日から支援に1つずつからでも行っていきたいです。参考になる貴重なお話をしていただきありがとうございました。また機会があれば参加させていただきたい

と思います。(介護員)

最初から最後までとても勉強になりました。普段、何も気にせずしている事がダメな事だったり、自分の介護・介助の仕方を見直す事が出来ます。(介護員)

使い方がよくわからないため、敬遠していたティルトタイプの車椅子でしたが、実際体験すると、この楽しさは利用者様にとって重要な事だと反省しています。楽であることがリハビリの第一歩だと考えました。研修ありがとうございました。(介護員)

今、GHにある車椅子は昔の型の車椅子の為、工夫はしているが座位が不安定だったり、頸部の安定がむずかしくなったりしているのが現状です。その中で今回の研修を受け、工夫のころを変化していこうと思いました。(介護員・介護支援専門員)

身体に合った車椅子の大切さ、クッションの大切さ、勉強になりました。(介護員)

わかりやすくとても良かった。(介護員)

大変、勉強になりました。チルト、リクライニングの必要性がもっと周知されると良いですね。(介護福祉士)

車椅子の角度が大事だとわかりました。その人に合った角度を見極めようと思います。摂食嚥下にならないように気をつけたいと思いました。勉強になり、明日から今日の事を役立てたいと思います。(介護福祉士)

車椅子のシーティングが大切な事がよくわかりました。楽しい講義でした。ありがとうございました。(介護福祉士)

とても勉強になりました。最近ティルト式のリクライニング車椅子をレンタルしたので利用者様にも活用できそうです。(介護支援専門員)

土中先生、本日はありがとうございました。普段、ご利用者様の立場を体験する機会がなかったので、とても貴重な機会でした。今後、活かしていきたいと思います。(介護福祉士)

車椅子の可能性をととても感じました。(介護福祉士)

担当の利用者さん、当初リクライニングの指定が退院時にありましたが、展示会でティルト付のを見て、現在、リクライニングとティルト付を使ってもらっています。家族さんも本人がベッドで横になっておられるときにお昼寝に使っています。寝心地が良いですと言われます。今日の話聞いて変えて良かったと実感しました。(介護福祉士)

座り方についての姿勢を中心にお話をされ、自分の施設に照らし合わせながらお聞きしていました。まだまだ、ご利用者がその人らしい姿勢というものを作れていないので今日、学んだことを活かして、一人一人の姿勢を整え、より良い、シーティングをしていきたいと思います。(介護福祉士)

シーティングの重要性やクッションの使い方、選び方等、大変参考になりました。自施設のシーティングが、いかに不備かがわかりました。まずは対象者を決めて、その方の生活が今より安楽になる事を目的に頑張りたいです。(介護福祉士)

私自身、知識が浅く、理解しかねるところもありましたがわかりやすくよかったです。講義の中で、たくさんの利用者様を頭に浮かべていました。食事姿勢、頭の位置、車椅子ではなく、椅子でも、傾きや姿勢の悪い人はたくさんいるので、今日の学びを活かしたいと思います。(介護福祉士)

新しい車椅子がこんなに進歩していることに驚いた。現在は車椅子を使用している方が少ないため困ってはいなかった。自分の親の事も考えると参考になりました。ありがとうございました。(介護福祉士)

シーティングの難しさを改めて実感した。普段使っている車椅子がいかに利用者にとって合っていないかわかった。姿勢も含め、その人に合ったシーティングができるようになりたい。(介護福祉士)

ティルトリクライニング型を使用している利用者があります。使い方も良くわかりましたし、

姿勢の大切さもよくわかりました。明日からの介護に活かします。(介護福祉士)

車椅子を使用した時の床ずれの出来る場所の違い、えん下のためのシーティングのポイントを勉強させていただきました。ありがとうございました。(福祉用具)

大変勉強になりました。福祉用具専門相談員として、車椅子に関する知識不足を痛感しました。少しずつでもご利用者により良い車椅子を提案できるように、もっと勉強していきたいです。(福祉用具専門相談員)

新しい視点が見つけれられた(福祉用具)

非常に勉強になりました。えん下の為のシーティングは特に参考になりました。(福祉用具)

職種上、シーティングをよく行いますが、メーカーとの勉強会だけではわからない現場のシーティングを聞き、体験することができて、大変、充実した勉強会でした。(福祉用具)

リクライニング型の車椅子を使っている方がいて、ムセや流出されるので、わかりやすかったのも、とても良かったです。ありがとうございました。(訪問介護員)

知らないこと等、たくさん知れました。とても良かったです。実際に使っていきたいと思いました。(訪問介護員)

仙骨、尾骨での褥瘡の違いが知れて良かったと思いました。車椅子の種類や特徴も知れて、食事介助時や座位中の見方、考え方が変わったと思います。ありがとうございました。(訪問介護員)

実際に利用者様に関わっていますが車椅子が合ってなく食事の時などはとても困っています。CMに問うも限度額で無理との事で車椅子の中で遊ぶような姿勢を取られているのです。どのように働きかけ安楽に過ごして頂けるかを日々考えています。(訪問介護員)

見るだけではなく、自分で体験してみる事によりよく理解する事ができました。シーティング

の大切さがよくわかり大変勉強になりました。車椅子を変える事で色々な事につながる大切さを知りました。今回参加できて良かったです。(訪問介護員)

物を導入するだけじゃなく、それを使って利用者がどういう結果になるかやはり時間が必要だと感じました。一番は利用者が生活をどれだけ安楽して過ごせるかが必要だと思います。(介護福祉士)

シーティングの大事さがわかり、大変勉強になりました。今後の機種選定等に役立てたいと思います。(福祉用具専門相談員)

母が車椅子を使用しておりますのでとても勉強になりました。少しでも気持ちよく過ごしてもらうため今日はとても役に立ちそうです。(在宅介護中)

ティルトのついた車椅子にあまり触れる機会がないのでとても勉強になりました。角度だけでなく、座る位置、頭の位置、足がついているか、手の位置がどうか・・・、本当にちょっとした事で全然違うなと体験してみて感じました。(介護員)

仕事している中で間違った使い方をしていたことがあることがわかりました。改めて使い方を見直していきたいです。(介護福祉士)

とても勉強になりました。現場の車椅子を見直してみます。(介護福祉士)

介護施設や在宅医療へ行く際、患者さんが車椅子を使用することがあり、褥瘡の患者さんもいます。しかし普段あまりこれらのことを学ぶ機会が無いため、本日はとても良い経験になりました。会場に机、椅子が無く、座だったことは残念でした。車椅子で前が見にくく、スペースが狭かったです。(薬学生)

結果を出すことが大切だと改めて感じた。ロボの調整のやり方が勉強になった(介護福祉士)

シーティングについて基本的な事から丁寧に説明して頂きとてもよく分かりました。(介護支援専門員)

今回のテーマに関しては、ほとんど知識がなかったのでシーティング等について知る良い機会になりました。特に仙骨、尾骨、坐骨についてはとてもためになりました。今後、車椅子に直接的に関わることは少ないと思いますが、今日のお話を活かしていけたらと思います。(薬学部学生)

私は、薬学生として今回難しいテーマでしたが、服薬指導時に褥瘡患者さんや家族の方に一声かけられるきっかけになったと思います。車椅子にはたくさんの種類があることにもびっくりしましたが、ただ座るだけのものではなくその人にあったポジションあり、それが見つかることで患者さんのQOLがあがると実感できました。(薬学生)

車椅子一つにとってしても、様々な種類や患者・使用者に合わせた使い方や細かい角度など大変参考になった。いかんせん身近にこの様な人がいる環境にいないため、実際に体験できたことで施設・病院での苦勞をすることができて良かった。(薬剤師)

車椅子にも様々な種類があることを改めて知った。座面の高さ、奥行き長さや短さで座り心地という人それぞれに合った、距離があること初めて意識することができた。座っている時にズリ落ちてしまうのは滑り止めマット、クッションをすることが間違っていることを知ることができ大変勉強になった。今回の講演でシーティングという言葉は初めて聞き、実際、自分が在宅ケアに関わる時に今日の講演を元に患者さんとの関わりを意識していきたいと思った。(学生)

私は薬学を中心に学んでいますが、在宅医療が進んできて褥瘡や車椅子生活の方と接する機会が増えてくるので、興味があり今回の講演会に参加させていただきました。車椅子によってこんなにも違い、ちょっとしたこと(クッション、リクライニングをさげる順序、首の位置)で褥瘡の危険性がグンと上がったり、誤えんしてしまうということを知れてよかったです。実際に乗ってみて水を飲んでみて、飲みにくさを実感できました。私が薬剤師になって在宅に行くようになったら、車椅子での生活の様子などにも注意をして、より患者さんのQOLがあがるようにしていきたいと思いました。(薬剤師実習生)

高校の時に看護科に所属しており介護実習の経験があるので懐かしい気持ちで聞くことができました。実習中、実際に体位変換や車椅子の乗り降りの補助などはさせていただきましたが、車椅子一つ選ぶだけでこんなにたくさんの要素が必要で適切な座り方など初めて知ることが多くあり、当時が勉強不足だったと分かりました。現在は薬学部にも所属しておりますが、薬剤師の在宅訪問も進んできているので、薬剤師ももっと介護も積極的に参加すべきだと感じました。(薬学部学生)

シーティングの大切さがよくわかりました。QOL向上のためにも考えていきたいと思いません。(看護師)

ベッドサイドの褥瘡の形成については多少知識がありましたが、車椅子においても褥瘡の形成があるとは思いませんでした。専門外というところもあってのことですが、目からうろこのお話もあり大変参考になりました。(薬剤師)

車椅子で褥瘡ができることも初めて知りました。とても勉強になりました。ありがとうございました。(薬剤師)

恥ずかしながら初めて車椅子に乗らせて頂きました。座り心地をはじめ、倒される時の不安感や飲むときの緊張感などで体験したことで分かる感覚が多かったです。(薬剤師)

体験することでその人の状況がすごく分かった。少しの首の傾きで上手く摂取できることが分かったので現場でも実践したい。(介護員)

大変ためになりました。(介護員)

勉強になりました。明日から出来る事からはじめようと思います。(介護支援専門員)

実際、私が働いているデイサービスでも標準型の車椅子しか置いてありません。簡易型のモジュラー式から努力していれてもらいたいと思います。(OT)

調剤薬局では普段使うことのない車椅子に触れることができました。シーティングの重要性が確認できました。在宅ケア、在宅指導に活か

すことができればと思います。(薬剤師)

車椅子にこんなに種類があるとは思いませんでした。それぞれの車椅子の利点を学べたことで、車椅子を使用している方の車椅子への見方が変わるなど感じました。演習では、実際に車椅子に乗り、色々な角度で水を飲みました。してみないとわからない事だったので良かったです。寝ては飲みづらいとはわかっていましたが、ある程度の座位でも頭を車椅子シートにつけることでこんなにもスムーズに飲み込めないとわかりました。シーティングについて、まだまだ勘違いされている方もおられると思います。専門の方だけでなく本人様や家族様の参加も願っております。私も職場や周りの方にも広めていきたいと思います。(訪問介護員)

シーティングの座り方、褥瘡予防、えん下予防をわかりやすく説明されてとても良かったです。しっかり知識を身につけて今日、体験させていただいた事を忘れずにこれからも現場で頑張りたいと思いました。(?)

今回の様に実際、体験しながら学べる研修はなかなかないので楽しみながら学びました。講師の先生もわかりやすく話して下さり聞きやすかったです。ありがとうございました。(介護福祉士)

ティルト・リクライニング車椅子を見たのは初めてでした。目からウロコ！感激しました。ありがとうございました。(医師)

説明も分かりやすく、実技もあり体験することは大切と思いました。(PT)

車椅子の選択で利用者の状態が大きく変わることを初めて知りました。又、すべり止めシートが褥瘡の原因になる事は予想外でした。私の施設でも行っている事なのですぐに今日学んだことを発進して検討していきたいです。(介護員)

ティルトリクライニングの正しい使い方を学べて良かった。(ティルトリクライニングの倒し方の順番は知りませんでした。)また、実際の体験を踏まえて摂食、えん下の仕組みを学べて良かった。(介護福祉士)

セラピストとして知っておくべきことをたくさん学ぶことができました。ありがとうございました。(OT)

勉強になりました。(医師)

褥瘡のシーティングをもっと解説して欲しかった。(PT)

実技があり、とても分かりやすくて良かったです。ありがとうございました。(ST)